

# 今年を飛躍の年に

## 独自の価値を創造

### 課題解決実現する商品提供

黒田 英邦



新年あけましておめでとう。今年も、依然として先行きの不透明な状況で推移しております。取り巻く経営環境は激変しておりますが、事業環境や顧客ニーズの変化に柔軟に対応することで、引き続き強い競争力を発揮できているものと考えております。

このような状況のもと、当社グループは既存事業のブラッシュアップと、領域拡大による成長を目指す第3次中期経営計画「Field Expansion 2024」において、既存事業から

のリソース再配分や戦略費支出の積極化など、事業領域の拡大に向けた取り組みを推進しております。

ファニチャー事業におけるオフィスリニール案件確保が一定程度は進捗するものの、第3クォーターまでの未達分を取り戻すまでには至らないことから、2022年通期業績目標については、売上高及び営業利益の下方修正を行いました。しかしながら本年は、対前年比で新案件が減少することを見込み、それをオフィスリニール案件で補うことを想定しております。



当社グループは、2021年2月に「長期ビジョン CCC2030」を策定し、森

林経営モデルにより多様な事業の集合体となり、2030年に売上高5000億円を目指すことを発表しました。また、「長期ビジョン CCC2030」達成に向けて、2

022年12月期より第3次中期経営計画「Field Expansion 2024」をスタートさせました。当該中計においては、「既存事業のブラッシュアップ」と「新たなニーズを取り込んだ事業領域の拡張」両面の取り組みを開始しております。

そのうち、当社グループは、自らの社会における役割を「WORK & LIFE STYLE Company」と再定義し、「ワークスタイル領域」と「ライフスタイル領域」という2つの事業領域を設定しております。この度、各事業領域の位置づけをより明確にするため、新規事業へのチャレン

スや海外事業の領域拡張の加速に向けて組織改正を実施いたします。

ワークスタイル領域では、国内のファニチャー事業のモノからコトへの流れの加速を一層促進するため、ファニ

チャー事業本部を「ワークスタイル事業本部」へ名称変更いたします。海外事業本部からライフスタイル領域の事業を移管し、ス

テーションナリー事業本部と統合し、「グローバルステーション事業本部」へ名称変更いたします。

当社は大きな変換点に立っています。大きく一歩を踏み出す。

ライフスタイル領域では、ステーションナリー事業のグローバルでの戦略推進、領域拡張の促進を目的に、海外事業本部からライフスタイル領域の事業を移管し、ス

テーションナリー事業本部と統合し、「グローバルステーション事業本部」へ名称変更いたします。

当社は大きな変換点に立っています。大きく一歩を踏み出す。

ライフスタイル領域では、ステーションナリー事業のグローバルでの戦略推進、領域拡張の促進を目的に、海外事業本部からライフスタイル領域の事業を移管し、ス

テーションナリー事業本部と統合し、「グローバルステーション事業本部」へ名称変更いたします。

当社は大きな変換点に立っています。大きく一歩を踏み出す。

ライフスタイル領域では、ステーションナリー事業のグローバルでの戦略推進、領域拡張の促進を目的に、海外事業本部からライフスタイル領域の事業を移管し、ス

テーションナリー事業本部と統合し、「グローバルステーション事業本部」へ名称変更いたします。

当社は大きな変換点に立っています。大きく一歩を踏み出す。

ライフスタイル領域では、ステーションナリー事業のグローバルでの戦略推進、領域拡張の促進を目的に、海外事業本部からライフスタイル領域の事業を移管し、ス

## ラストワンマイル

### 変化、発見を見落とさず

金澤 利治



大きく影響を受けた1年となりました。またアメリカの中央銀行FRBの利上げ政策により円安が続く、日本だけでなく全世界での影響も計り知れず、いまだ不安定要素から世界経済に大きく影響が出ております。小売業全般では、非常に厳しい市場感を感じま

す。また円安による影響も相まって原材料、物流コストの上昇、半導体の世界的な品不足の影響で、我々の業界も昨年は相次ぐ値上げに加え、品切れ、生産停止、入荷未定と引き続き大きく影響を受けた1年でもございました。今年も昨年末に引き続き、新年度力

取り扱う商品の値上げの案内を申し上げていく厳しい状況です。

昨年2022年の世相を表す漢字は「戦」でございました。12月12日の「漢字の日に1年を振り返り、漢字一字に込められた奥深い意義を再認識する機会を持つことを目的に始まり今年で28回目となります。」「戦」が選ばれた理由としてロシアのウクライナ

への侵襲により、「戦」争の恐れしさを目の当たりにした2年であり、円安・物価高による生活面での「戦」い、またワールドカップサッカーでの日本チームの奮闘などスポーツでの熱い「戦」・挑む「戦」も注目されたことが理由の一つです。

残念ながら、昨年10月に66回目の開催を予定しておりました当組合のメイン事業であるオフィスフェア2022「ぶんぐ博」におきましては

コロナ禍の影響もあり、やむを得ず中止の運びとなりました。現在、オンラインでの情報提供や情報のライブ発信という形がますます発展するな

か、当組合としてこの部分にはこれからもしっかりと取り組む所存でございます。

コロナ禍における国内の企業及び人の動きの変化は私共の業界にも大きな影響をもたらしました。一昨年に続き昨

年もほとんどの仕入れ先様の見本市、フェアが自粛中止であったものの、現在少しずつではありますが3年ぶりに開催等の動きが出てきております。メーカー各社は新商

品、新サービスを続々と発表しております。また急に売れなくなった商品、逆に急に売りが伸びた商品、新たに

取り扱いは増えた商品、分野も多くなりました。コロナ禍の販売実績をもとに、新たな気付きも多く見られたと存じます。この変化や発見を見落とさず、ユーザーの

皆様は今、一番必要とされている商品、サービスを的確にお届けすることが業界の皆様

の想いを直接ユーザー様にお届

出すとともに、時代の変化を鋭敏にとらえ、コクヨ独自の価値創造と課題解決を実現する商品およびサービスの提供により一層努めてまいります。

最後になりましたが、本年が皆様方にとって大過な良い一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。「コクヨ株式会社社長」

3年ぶりに初詣と新年会

〇：ぼたんの会

業界の多年の集まりである「ぼたんの会(正木和典会長)」は、1月8日に3年ぶりとなる初詣・新年会を開催した。当日は3世代11名が参加。京都駅に集合した後、千支の猪が祭神の「護王神社」に参拝し修祓の後、会場を京都・祇園四条の「天壇・祇園本店」に移して会食を行い種々歓談した。

新しい年が、また令和の時代が皆様にとりましてコロナに打ち勝ち、希望に満ちた飛躍の年になりますよう心からお祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。「大阪文具事務用品協同組合理事長、金澤英株株式会社社長」

新年明けましておめでとうございます。

平素は大阪文具事務用品協同組合の運営にひとたかならぬご支援を賜りまして誠にありがとうございます。心より厚く御礼申し上げます。新春にあたり心ごと御挨拶申し上げます。

昨年は未だコロナ禍の影響、またロシアによる軍事侵攻の影響により日本経済が大

攻め込まれており、依然として先行きの不透明な状況で推移しております。取り巻く経営環境は激変しておりますが、事業環境や顧客ニーズの変化に柔軟に対応することで、引き続き強い競争力を発揮できているものと考えております。

このような状況のもと、当社グループは既存事業のブラッシュアップと、領域拡大による成長を目指す第3次中期経営計画「Field Expansion 2024」において、既存事業から

のリソース再配分や戦略費支出の積極化など、事業領域の拡大に向けた取り組みを推進しております。

ファニチャー事業におけるオフィスリニール案件確保が一定程度は進捗するものの、第3クォーターまでの未達分を取り戻すまでには至らないことから、2022年通期業績目標については、売上高及び営業利益の下方修正を行いました。しかしながら本年は、対前年比で新案件が減少することを見込み、それをオフィスリニール案件で補うことを想定しております。

当社グループは、2021年2月に「長期ビジョン CCC2030」を策定し、森

林経営モデルにより多様な事業の集合体となり、2030年に売上高5000億円を目指すことを発表しました。また、「長期ビジョン CCC2030」達成に向けて、2

022年12月期より第3次中期経営計画「Field Expansion 2024」をスタートさせました。当該中計においては、「既存事業のブラッシュアップ」と「新たなニーズを取り込んだ事業領域の拡張」両面の取り組みを開始しております。

そのうち、当社グループは、自らの社会における役割を「WORK & LIFE STYLE Company」と再定義し、「ワークスタイル領域」と「ライフスタイル領域」という2つの事業領域を設定しております。この度、各事業領域の位置づけをより明確にするため、新規事業へのチャレン

スや海外事業の領域拡張の加速に向けて組織改正を実施いたします。

ワークスタイル領域では、国内のファニチャー事業のモノからコトへの流れの加速を一層促進するため、ファニ

チャー事業本部を「ワークスタイル事業本部」へ名称変更いたします。海外事業本部からライフスタイル領域の事業を移管し、ス

テーションナリー事業本部と統合し、「グローバルステーション事業本部」へ名称変更いたします。

当社は大きな変換点に立っています。大きく一歩を踏み出す。

ライフスタイル領域では、ステーションナリー事業のグローバルでの戦略推進、領域拡張の促進を目的に、海外事業本部からライフスタイル領域の事業を移管し、ス

匠の技 ステンレス製 高級つめきり

ワンタッチで跳ね上がる開口部

使いやすさとデザイン性を追求した 無駄のないつめきり

テコ表面中央部分 超微粒ヤスリ付き

美しい暮らしを創る装飾利器刃物

グリーンベル

http://www.greenbell.net/

KOKUYO

貼るって、こんなに変わる。

GLOC